

バレーボール No 5 SAGA 2024 国スポ 全障スポ

試合結果速報

種別 **成年女子** 会場 **SAGAアリーナ**

令和 **6** 年 **10** 月 **8** 日 火曜日 第 **3** 日目

準決勝 **B** コート 第 **1** 試合

◎試合結果

勝利チーム

佐賀県 **3**

25	-	21
25	-	14
25	-	11
	-	
	-	

0 **熊本県**

設定時刻(プロ記載時刻)
9 時 **30** 分

開始時刻
9 時 **30** 分

終了時刻
10 時 **41** 分

【審判員】

主審：木内 誠二 副審：平田 真実

記録員：寺田 泰亮 A・S：木村 太亮 A・S：_____

【次の試合】 (記入無き場合は上記試合が最終)

設定時刻(プロ記載時刻)
12 時 **10** 分

開始予定時刻
12 時 **10** 分

組合せ
山梨県 VS **岡山県**

No.	送信時間	送信者	競技(副)委員長	記録報道主任	記録者
			松本	山口	江越

受信時間	記録本部

【様式 9-2】

バレーボール No.6

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

戦評用紙

審判副委員長

江口 祐一郎

種別 **成年女子** 会場 **SAGAアリーナ**

平成 **6** 年 **10** 月 **8** 日 **火** 曜日 第 **3** 日目

準決勝 **B** コート 第 **1** 試合

◎試合結果

勝利チーム

佐賀県 **3**

25	-	21
25	-	14
25	-	11
	-	
	-	

0 **熊本県**

【審判員】

主審：木内 誠二 副審：平田 真実

記録員：寺田 泰亮 A・S：木村 太亮 A・S：

【戦評】

記載者：川浪 真太郎

第1セットは序盤、熊本県入江のレフト攻撃、釜元のブロードでリードを奪うも、佐賀県平山の速攻や吉武のブロックで追いつく展開。中盤以降は熊本県の軟打やブロックアウトに対し、佐賀県は中島の好レシーブやバックアタックが決まり、一進一退の攻防。終盤は荒木の速攻などで佐賀県が抜け出し25-21で振り切った。第2セットは序盤、佐賀県吉武や北窓のパワフルなスパイクが決まると、高さのあるブロックや粘り強いレシーブで流れをつかむ。熊本県も入江のスパイクで反撃するも、佐賀県はセッター栄のトスワークが冴え、終始佐賀県がリードし、25-14でセットを連取した。第3セットは序盤、佐賀県中島の強烈なサーブで相手を崩し、チャンスボールから多彩な攻撃を仕掛け一気にリードを奪う。その勢いのまま好レシーブで粘る熊本県を25-11で振り切り、佐賀県が勝利した。

【様式 6-2】

バレーボール No13

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

試合結果速報

種別 **成年女子** 会場 **SAGAアリーナ**

令和 **6** 年 **10** 月 **8** 日 **火** 曜日 第 **3** 日目

準決勝 **B** コート 第 **2** 試合

◎試合結果

勝利チーム

岡山県 3

25	-	22
25	-	22
25	-	20
	-	
	-	

0 山梨県

設定時刻(プロ記載時刻)
12 時 10 分

開始時刻
12 時 10 分

終了時刻
13 時 30 分

【審判員】

主審：江口 祐一郎 副審：森山 真梨絵

記録員：秋永 良子 A・S：川浪 真太郎 A・S：_____

【次の試合】 (記入無き場合は上記試合が最終)

設定時刻(プロ記載時刻)
14 時 50 分

開始予定時刻
14 時 50 分

組合せ
兵庫県 VS 北海道

No.	送信時間	送信者	競技(副)委員長	記録報道主任	記録者
			松本	山口	江越

受信時間	記録本部

【様式 9-2】

バレーボール No.14

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

戦評用紙

審判副委員長

江口祐一郎

種別 **成年女子** 会場 **SAGAアリーナ**

平成 **6** 年 **10** 月 **8** 日 **火** 曜日 第 **3** 日目

準決勝 **B** コート 第 **2** 試合

◎試合結果

勝利チーム

岡山県 **3**

25	-	22
25	-	22
25	-	20
	-	
	-	

0 **山梨県**

【審判員】

主審：江口祐一郎 副審：森山真梨絵

記録員：秋永良子 A・S：川浪真太郎 A・S：

【戦評】

記載者：木村太亮

第1セットは序盤から中盤にかけ、岡山県田口の高さを生かしたクイックや小松原のライトからの強烈なスパイク、対する山梨県は黒岩や平岡の滞空力のある強打やフェイントが有効に決まり一進一退の攻防。終盤は岡山県中本のスパイクなどで抜け出した岡山が25-22で先取した。第2セットも互いにレシーブ陣の好守が光り、接戦の展開。岡山県は幅を生かしたトスワークで相手ブロックをかわし、山梨県は両サイドを中心に得点を重ねる。終盤は決定機を生かし続けた岡山県が粘る山梨県を25-22で振り切った。第3セットは、序盤は岡山県が優位に進めるが、山梨県も効果的な攻撃で応戦し、中盤までは互角の展開に。レシーブの粘りと遠藤のトスワークで山梨県も一歩も引かないが、最後は高さを生かしたサイド攻撃で勝る岡山県が連取し、ストレート勝ちを収めた。